



学校だより 令和5年12月号 知名町立住吉小学校

# がじゅまる

メールアドレス sumiyoshisho2@po3.synapse.ne.jp 12月20日発行

奄美群島  
日本復帰  
70周年記念

## 2024年に向けて 飛躍!

校長 牧口 廣久

「星月夜 空の高さよ 大きさよ」(尚白)星の光が月のように明るく見える夜を指して、「星月夜」と呼ぶのだそうです。今の季節は空が澄み、夜の星が冴えてとてもきれいです。

子どもの頃、冬休みは、特別な日々だと思えて、わくわくしたことを思い出します。クリスマスプレゼントを買ってもらったり、親戚のお菓子屋さんでクリスマスケーキはどれがいいかを選んだりしました。家で作るおせち料理の中身が気になり、時々、鍋の中を覗き込んでみたり、年越しそばを打っている様子を眺めたり。こたつでみかんを食べながら、テレビを見て一家団らんの時を過ごしたり。年末の大掃除では、笹の葉で軒下の蜘蛛の巣を払ったことなどが思い出されます。冬休みには、たくさん思い出が詰まっていて、感慨深い気持ちがこみ上げてきます。

今年も残すところ、十日足らずとなりましたが、毎年、年末になると各地で合唱の歌声が響き渡るのが、「第九」です。作者であるベートーベンが誕生して約250年。「ベートーベンの音楽は、ほかのどんな音楽よりも、悩むものの友だちであり、ときに、慰み手である」とある音楽評論家は述べています。家族の死、貧しさ、孤独、難聴。次々と襲ってくる困難にも勇気を湧き立たせて希望を捨てず、乗り越えていきました。第九が日本で初めて演奏されたのは第一次世界大戦の最中の1918年。中国で捕虜となったドイツ人が徳島県の収容所で演奏したのが始まりです。なぜ、収容所なのに捕虜が演奏することができたのでしょうか。それは、収容所の所長が「捕虜に甘い」との非難に負けず、敵の国同士にも関わらず、思いやりと信頼、寛容な心で捕虜に接したからです。収容所周辺の土地を借り、サッカー場やテニスコート、菜園を造りました。また、遠足や登山、「足を洗う」との名目で海水浴まで許しました。一方、捕虜のドイツ人も近隣住民と交流し、生活向上のための技術を教えました。第九の歌には、希望や歓喜、困難を乗り越えることなど前向きな意味がいっぱい込められています。平和を願う第九の演奏はこのようにして実現したのです。

社会に目を向けて、今年を振り返ってみると、まだまだ解決しなければならぬことがたくさんあるように思います。それでも楽聖のように何があっても前向きに前進し続ける生き方は学ぶべきところが多いと感じます。

明日から冬休みに入ります。年末年始は何かと慌ただしい時節ですが、交通事故等には十分気をつけて過ごし、皆様にとって新しい年がよい年となりますことをご祈念申し上げます。

## \*校内持久走大会 ~ せいっぱい走りました ~\*

12月8日(金)、校内持久走大会を実施しました。保護者・地域の皆様のおかげで、子どもたちのパワーのみならずになりました。コースの距離は、1・2年生が800m、3・4年生が1500m、5・6年生が2000mです。当日は、沖永良部消防署の6人の消防士の方々に伴走していただき、参加した子どもたちは力を出し切って走ることができました。ありがとうございました。そして、2人の新記録者が生まれました。おめでとうございます!

1年 榮 美凜花さん【記録 3分48秒】  
2年 泊 純利さん【記録 3分7秒】

## \*住吉小コミュニティ・スクール【がじゅまるクラブ】の様子\*

今回の校内持久走大会において、消防士の方々が子どもたちのために協力してくださいました。また、保護者や地域の皆様が応援のためにコースの道路に立っていただいていることも、おのずと子どもたちの安全確保につながっています。このように子どもたちの学びや成長を支え、見守る地域の方々の活動が、コミュニティ・スクールの『地域学校協働活動』となっています。



1・2年生のスタート



3・4年生のスタート



5・6年生のスタート



3・4年生に伴走する消防士



6年生…絆のゴール



みんなで記念撮影(^^)

## \*1月の行事予定\*

2日(火) 町内一周駅伝 二十歳のつどい  
9日(火) 始業式【給食あり】  
15日(月) 全校ボランティア  
16日(火) 鹿児島学習定着度調査(1日め)  
17日(水) 鹿児島学習定着度調査(2日め)  
23日(火) 避難訓練(火災想定)

26日(金) 交流給食  
29日(月) 新入学児体験入学・保護者説明会  
30日(火) 薬物乱用防止教室(3・4年)  
スクールカウンセラー来校  
PTA運営委員会(18:30~)